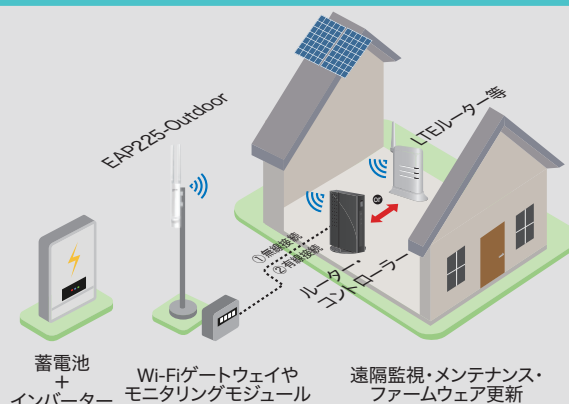


～ソーラー給電システムや蓄電池の遠隔監視に好適！～ TP-Linkの屋外対応アクセスポイント運用ソリューション

太陽光発電システムや蓄電池設備は、住宅や小規模事業所において屋外設置されるケースが一般的です。インターネット接続が必要な蓄電池製品においては、TP-Linkの屋外用アクセスポイントが活用されており、安定した遠隔監視と制御通信を実現しています。こうした実績を踏まえ、蓄電池メーカー様向けに以下のようなOmada屋外運用ソリューションのご提案です。

導入概要

- 1 屋外に設置される蓄電池+インバーター装置近くに屋外対応APを設置しネットワークを構築
- 2 蓄電池のゲートウェイやモニタリングモジュールをWi-Fi接続
- 3 家屋内または工事用配電盤近辺に設置したルーター・コントローラと連携し、遠隔監視・メンテナンス・ファームウェア更新等に対応
- 4 LTEルーター等との連携も可能



推奨ユースケース



戸建て住宅



小規模ビル・倉庫



工事現場仮設電源

TP-Link屋外対応APの6つのポイント

ポイント 1



安定した通信性能^{※1}

ポイント 2



全天候対応のIP65/IP67

ポイント 3



集中管理対応^{※2}

ポイント 4



低コストで高品質

ポイント 5



PoE給電による柔軟設置

ポイント 6



メッシュ対応

※1: 最大無線伝送速度は、IEEE 802.11規格の仕様に準拠した物理層速度です。より高い容量とは、実験室において、6GHz-5GHz・2.4GHz帯域に様々な端末を同時接続した際に分析したテストデータに基づくものです。4K動画・1080P動画・720P動画・ファイルダウンロード・Web閲覧・IPカメラ・その他IoT機器等のアプリケーションを用い部屋で同時に実行することで、一般家庭のシナリオをシミュレーションしています。実際のワイヤレスステータスレポート、ワイヤレスカバーレッジおよび最大接続デバイス数は、インターネットサービスプロバイダーによる要因、建築材料、物理的障害等の環境要因や近隣の電波干渉、トラフィック量と密度、製品の設置場所、ネットワークの輻輳さ、ネットワークのオーバーヘッドや、定格性能、場所、接続品質、クライアント条件等のクライアントの制限によって左右される為、保証されるものではありません。

※2: 集中管理を利用する場合は、Omada SDNコントローラーを使用する必要があります。

